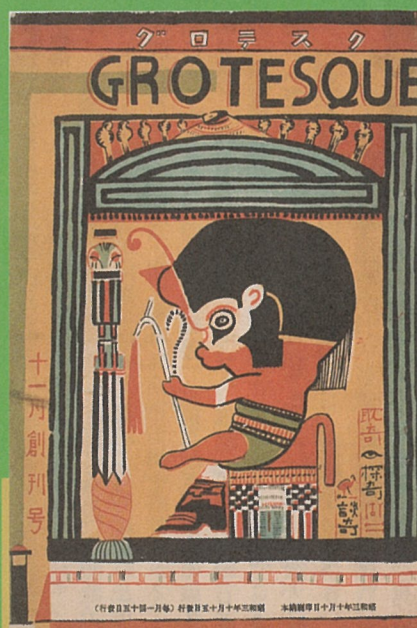


GROTESQUE

叢書エログロナンセンス 第Ⅰ期

監修・解題◆**島村 輝** フェリス女学院大学教授

●…… **全10巻**



梅原北明の代表的な雑誌。サブカルチャーの領域から「自由」抑圧への、反逆の一撃……。関東大震災からアジア太平洋十五年戦争までを繋ぐ、サブカルチャー領域の貴重資料。

グロテスク

ゆまに
書房 YUMANI
SHOBUN

『グロテスク』復刻刊行にあたって

島村 輝

フェリス女学院大学教授

戦前ジャーナリズム界の異才・梅原北明は、猥雑なエネルギーと好事家的コレクション記事に満ちた雑誌類を次々と発行し、斯界に一大旋風を引き起こしていった。かつて本書肆より復刻刊行された『変態・資料』（一九二六年創刊）も、また今回復刻刊行される『グロテスク』（一九二八年十一月創刊）も、その流れのうちにある。これら雑誌類、およびその周辺から多数出版された「珍書・奇書」類こそ、まさにその後のメディアを席巻することとなる「エロ・グロ・ナンセンス」ブームを準備した中核であった。

それまでの一連の雑誌が、会員制による頒布という形式をとっていたのに対し、『グロテスク』は店頭に並べられる公刊形式となっていた。「文献本位」「内容主義」を謳って「隠れた同志の出現」を期待しつつ発刊された本誌だが、やはり立て続けの発禁処分など、厳しい取締の対象となった。かつて丸山眞男は「人慾の解放としての自由ならば、その時々、断片的にこの日本の封建社会にあったではないか。……大正デモクラシーのもとでのエロ・グロ・ナンセンスの自由もそうであった。それは本来の近代的自由ではない」（『日本における自由意識の形成と特質』）と述べたが、北明らの残した仕事の跡をふりかえると、これが丸山のように「本来の近代的自由ではない」と単純に切り捨てられるべきものでなく、サブカルチャーの領域からの「自由」抑圧への、反逆の一撃ともいえるべきものであったことは、明らかであろう。

関東大震災からアジア太平洋十五年戦争までを繋ぐ、サブカルチャー領域の貴重資料として注目を集めてきた『グロテスク』だが、さまざまな事情から、これまで復刻が実現しなかった。現物を直接目にするのが困難となった現在、「戦争前夜」から今を照射する鏡として、すべての文学・文化に関心を持つ人々が、この復刻を手許に置かれることを心から希望する。

九月號目次（第二巻 第九號）

現代見世物展覧會	野村胡堂
寄席興行變遷史	小生夢坊
最近興行受難史	植平芳記
現代映畫興行宣傳略	植平芳記
競馬興行と競馬狂の語	植平芳記
劇場續考	植平芳記
支那靈藥發達史	井上
大蒙古の黄金郷を尋ねて	井上
徳川閨門秘誌	井上
支那羽兎考	井上
人でなしの記録	井上
刀劍漫録	井上
備前掘盆一代記	井上
映書鉄厄史	井上
近世異端書人傳	井上
世界便所發展史	井上
舶來黃表紙	井上
河童	井上
幽霊寺の戀愛	井上
かぶりす・ばす・とらある	井上

今見世物奇蹟大行進

梅原北明

うめはら・ほくめい（一九〇一～一九四六）

大正・昭和のエログロナンセンス文化を牽引した編集者、翻訳家。明治三十三（一九〇〇）年、富山県に生まれる。大正七（一九一八）年、早稲田大学高等予科に入学、左傾化し翌々年中退。全国水平社の運動などに関わり関西で活動。関東大震災後、再び上京、出版社・新聞者に勤める。大正十四（一九二五）年、翻訳『全訳デカメロン』が話題となる。同年『露西亞大革命史』を刊行、プロ作家との繋がりをも強めていき、大正十五（一九二六）年、雑誌『文芸市場』（一九二六～一九二七）を創刊。その後、叢書『変態十二史』（一九二五）の刊行を皮切りに、雑誌『変態資料』（一九二六～一九二八）などエログロ系にシフトしていく。その梅原の出版活動で最も著名な雑誌が『グロテスク』（一九二八～一九三二）である。

『グロテスク』主要掲載内容

※目次の詳細は弊社ホームページをご覧ください。



▼第二巻第二号（昭和四年二月）
「万客の全図」無飽三財図会より／「最近輸入珍書秘画解説史」梅原北明／「勤燬淫書論」大泉黒石／「世界惨虐刑罰史」才田礼門／「英国著聞大兇列伝」田山石馬詠／「日本囚獄史」梅原北明／「江戸大奥痴態録」皆川美彦／「強精剤の座談会」徳永保、高田義一郎、梅原北明、酒井潔 ほか



九二年と一九二七年 浅田一／「黒い瞳」ムハメッド・サイシャ／「浮気行進譜」花房四郎 ほか

▼第二巻第八号（昭和四年八月）
「漫画漫文 グロテスク恋愛」杉田三太郎／「大東京トキキ」於寒／「映画鉄厄史」山下二郎／「現代異端画人伝」渋谷於寒／「こんにやく本研究砂松に就て」五猫庵／「風呂敷雑考」稲垣豆人／「性的人相学入門」大熊光山／「歌舞伎に現れた情痴」渥美清太郎／「芝居に現れた情痴」吉田暎二／「現代俳優恋愛行進曲」村山薫 ほか

菅原寛／「臍から臍へ」那珂良二／「女は男のどこにセックスアツピールを感じるか」花園歌子、岡村文子、岡春江／「男は女のどこにセックスアツピールを感じるか？」島山清行、瀬木菊次郎／「俗謡の破礼文句」湯朝竹山人／（モダン・グロテスク）「或るダンサーの科学的ミステリー」下村千秋／「街頭からデパートのグロ」浅原六朗 ほか

▼第二巻第十号は、十月刊行に遅れたため、第十一号として刊行。

▼創刊号（昭和三年十二月）
「愛の魔術」酒井潔／「くかたち考」高田義一郎／「日本文身考」谷井基次郎／「非人乞食考」梅原北明／「セントエルモの怪火」藤原咲平／「近代禁書解題」（一）斎藤昌三／「ミラボー伯の珍本」梅原北明／「世界列妖伝」（一）酒井潔 ほか



▼第二巻第三号（昭和四年三月）

▼第一巻第一号（昭和三年十二月）
「勤燬淫書徴信」大泉黒石／「レスビエンス」酒井潔／「日本文身考」谷井基次郎／「川柳浴場志」（一）大曲駒村／「世界内房座談会」生方敏郎、高田義一郎、斎藤昌三、尾高三郎、以無天理庵主人、伊藤竹醉、酒井潔、梅原北明「動物綺談」黒川義太郎／「同名異人 高橋お伝毒婦譚」鳥山朝太郎 ほか

ネグロ舞踊の女王ジョセフィーヌ・ペーラー／「恋のカロル殿下」ガブリエル・ペルー著、酒井潔訳／「睡夢」岡崎桂一郎／「世界惨虐刑罰史」才田礼門／「江戸時代のモボとモガ」宮川曼魚／「明治初期のモダン物語」石井研堂／「近世ハイカラ変遷史」梅原北明／「ダンス・ホールの変遷」饒平名紀芳／「支那の泥棒市場」上田恭輔／「犯罪隠語集」樺山勝美 ほか

▼第二巻第五号（昭和四年五月）
「江戸横濱羅紗女史」中島幸三郎／「当世痴人伝（解題）」斎藤昌三／「多妻鑑」鳴弦斎／「日本近代畸人録」芦湖山人／「四分律の註釈」水野指月／「尾崎君の「振驚亭の怪談会本」を読む」南方熊楠／「幻覚実験室」アングテイル作、延原辰夫訳／「談奇館漫録」（第一回）馬場孤蝶、生方敏郎、杉田直樹、今東光、斎藤昌三、広瀬木兎、酒井潔、梅原北明 ほか



▼第二巻第九号（昭和四年九月）

（口絵）「変生男子」世界便所発展の図「モガの理想境」／「現代見世物展覧会」和田信義／「最近興行受難史」小生夢坊／「現代映画興行宣伝綺譚」饒平名芳記／「競馬興行と競馬狂の話」桂小南／「劇場禁制考」飯塚友一郎／「世界便所発展史」梅原北明／「舶来黄表紙」青山光夫／「河童考」法月吐志楼／（小説）「幽霊寺の恋愛」綿貫六助 ほか



▼第二巻第四号（昭和四年四月）

▼第二巻第一号（昭和四年一月）
（東西二大名画）「狸の寧丸画集」一勇斎国芳／「グロテスク画集」リチャード・ミューラー／「聖天秘抄」酒井潔／「阿片考」梅原北明／「魂奇的合巻物雑考」尾崎久弥／「世界惨虐刑罰史」才田礼門／「日本惨虐刑罰史」高田義一郎／「サディストとマゾヒスト（対話）」梅原北明、杉田直樹／「童貞論」浅田一／「近代禁書解題」斎藤昌三／「続川柳浴場志」大曲駒村／「観相秘伝」中司哲巖／「近世詐術捕物考」鳥山朝太郎 ほか

「支那第三奇書 多妻鑑」鳴弦斎／「振驚亭の怪談会本」尾崎久弥／「芝居漫談 流行風俗」渥美清太郎／「頭の畸型」小酒井不木／「曲曲楽に就て」松井源水／「世界阿片綺談」梅原北明／「春宵訪花賦」窪田文雄／「一



「江戸横濱羅紗女史」中島幸三郎／「支那符呪考」井上紅梅／「長崎軟詠録」永見徳太郎／「横濱名物」チャブ屋今昔譚 斎藤昌三／「日本刑罰史」梅原北明／「東西毒藥綺談」高田義一郎／「映画鉄厄史」山下二郎／「緊縛一番」淡島綱男／「南方熊楠論」本山桂川、中山太郎／「モダン笑話 裝飾品の不平」堀江真鯉夫／「あとりを廻る」原宏 ほか



▼第二巻第十一号（昭和四年十一月）

「浮世風呂談義」原比露志「近代遊蕩文学史」石川巖／「幽霊芝居変遷史」渥美清太郎／「浄瑠璃エロティシズム」大宮志丈／「変態」だんまり「私見」



▼第三巻第一号（昭和五年一月）

「歌舞伎の小唄」湯朝竹山人／「上代人の恋愛と生活」皆川美彦／「人肉料理」大泉黒石／「女相撲」松浦泉三郎／「一九五〇年の売笑婦は？」葉山嘉樹、スザッコ・フジ、綾小路譲、山澤子、愚路ヨシ／「美人・漫談」尾崎士郎／「美人共有制度と公娼制度」堀



▼第三巻第十二号（昭和四年十二月）

「元死刑執行官の手記」ジョン・エリス／「西洋売女変遷史」梅原北明／「現代御法度珍商売往来」和田信義／「近代花街年表」加藤藤吉／「近世避妊考」川端勇男／（創作）「青銅の燭台」十菱愛彦／「空前愛憎情」井東憲 ほか

木克三／「女性よ喜べ」 川路柳虹／
「美人共有とはなつたが」 青野季吉／
「少年読本」 稲垣足穂／「楳原の月」
辻潤／「科学的妖怪」 仲木貞一／「蝸
入道は前進する」 金子洋文／「人を喰
った男の評伝（梅原北明の巻）」 生方
敏郎、大泉黒石、今東光、大曲駒村、
高田義一郎、斎藤昌三、石井研堂、和
田信義、鈴木龍二、綿貫六助、幹谷土
句子 ほか

▼第四巻第一号まで休刊



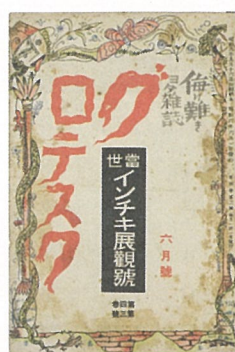
▼第四巻第一号（昭和六年四月） 復活記念号

（グロテスク文庫）「世界接吻史」 大
塚倭堂／「世界食人肉考」 中戸川薫
明／「淫事戒」 高井蘭山著、加山三郎
解説／「有閑インテリ層に咲く悪の華」
新居格／「ブルジョワ・エロ・グロに
ついて」 徳永直／（課題小説）「妖怪
の放屁」 三千里突の尻 久野豊彦／
「妖怪の放屁」 十菱愛彦／「妖怪の放
屁」 今野賢三／「魔奇術の話」 松旭齊
天華／「舗道の人魚」 間宮茂輔／「蹂
躪」 里村欣三／「文壇人のエロ・グロ
感」 文壇名士二十余名／「近世現代全
国獄内留置場体験座談会」 肥田司、
江馬修、小生夢坊、矢部栄吉、松原一
夢、鈴木厚、布施辰治、梅原北明、飯
田素之助、尾高三郎、花房四郎、中戸
川薫明、庄司保太郎、遠藤幸次郎
ほか

▼第四巻第二号（昭和六年五月）

（口絵）「春たけなは」 此の恋成功せ
り「珍顔大会」 土人の名征矢「土
人小屋の門番」／（特選怪奇売物）

「艶書蒐集病患者」一ノ木麟太郎／
「樹木礼拝狂」 マーギユライト・ウイ
ルコックス、馬上英一郎訳「生命の
宴」 森下日吉、熊坂義男、吉野光枝、
古海卓二／（東洋デカメロン展）「日
本でかめるん」 結城六郎／「朝鮮でか
めるん」 大塚倭堂／「台湾デカメロン」
渡邊誠／「支那でかめるん」 神山美
花／「寛永の聞書」 笹川臨風／「点
景京大阪」 河井醉茗／（グロテスク
文庫）「日本海賊史」 中戸川薫明／
「江戸時代艶書往来」 杉並忠雄／「中
世に於ける湯女」 フランツ・スコット
／「ゴシップの嵐（文壇の巻）」 グ
ロ・シヤツ党書記局／（尖鋭グロテ
スク小説）「女賊行状記」 津村京村／
「情火」 尾高三郎／「ロアン」の幽霊
峰岸義一／「拗体俗曲」 佐藤惣之助／
「近世現代全国獄内留置場体験座談会」
肥田司、江馬修、小生夢坊、矢部栄
吉、松原一夢、鈴木厚、布施辰治、梅
原北明、飯田素之助、尾高三郎、花房
四郎、中戸川薫明、庄司保太郎、遠藤
幸次郎



▼第四巻第三号（昭和六年六月）

（グロテスク怪奇事実読物）「癪病三
代相」 中戸川薫明／「アニ、計らんや
物語」 小生夢坊／「ハレムの人妻」 皆
川美彦／「アメリカ賭博地獄」 青山倭
文二／「モデルにされた男」 坂井一
郎／「民間妖術師列伝」 渡邊誠／（グ
ロテスク）「近世私娼史」 宮本良／「江
戸時代男娼征伐史」 塙鴻之介／「江戸
小唄の風景」 湯朝竹山人／「浮浪者
街の美少年」 岡下一郎／「生命の宴」



▼第四巻第四号（昭和六年七月）

（グロテスク特別長篇読物）「ハルビ
ン秘話」 松花江の秘密クラブ 瀬田房
雄／「艶書学指南」 小此木貞助／（御
案内！エロ・グロ最大級特輯篇）「裸
体学校優等生」 桜井忠温／「港港に売
笑婦」 青野季吉／「行く処皆春」 平山
蘆江／「刺青の女給に買はれた話」 松
崎天民／「殺人魔失踪事件」 那珂良
二／（グロテスク）「仏郎機は小児を煮
て喰ふ」 永見徳太郎／「中堅女優のス
タヂオ生活」 大塔寺謙／（ネオ・グロ
テスク傑作小説）「トビツク・イラ
ン・イラン」 佐々木杜雄／「蠱惑の人
魚」 十菱愛彦 ほか



▼第四巻第五号（昭和六年八月）

「事実怪談納骨堂の怪と生首にキツス
する女」 山田寒一／「婦女を覗く魔性
蛇」 岡田建文／「怨みの爪痕」 東城
晋／「南京魔窟街のポーランド娘」 霧
島クララ／「支那性遊記」 小生夢坊／
「北満の殺人見聞記」 松本二朗／「大
連の泥棒市場」 竹内大三位／「死唇の
囁き（梅太郎殺し秘聞）」 大原一平
「グロテスク・サロン」 中戸川薫明 ほか

▼……主要執筆者略歴……

青野季吉（あおの・すえきち、一八
九〇―一九六二）文芸評論家。新潟県
出身。早稲田大学英文文学科卒業。『種
く人』文芸戦線』の同人として、一九
二〇年代のプロレタリア文学運動の指
導的役割を担った。

浅田 一（あさだ・はじめ、一八八七
―一九五二）法医学者。大阪出身。東
京帝国大学卒業。長崎医科大学教授、東京
医専（現東京医大）教授を務めた。主
著に『法医学講義』『性的犯罪者』など。

渥美清太郎（あつみ・せいたろう、
一八九二―一九五九）演劇評論家。東
京出身。青山学院高等部卒業。『演芸
画報』『演劇界』の編集に携わり編集
長を務めた。『天南北全集』『日本戯曲
全集』などを編集。主著に『邦楽舞踊
辞典』『日本舞踊史』などがある。

石井研堂（いしい・けんどう、本
名・民司、一八六五―一九四三）編集
者、明治文化研究者。福島県出身。雑
誌『小国民』（のち『少国民』）の編集
長を務めたほか、『実業少年』など多
くの児童雑誌に携わった。主著に『中
村正直伝』『明治事物起源』など。

石川 巖（いしかわ・いわお、一八七
八―一九四七）書誌研究者。山形県出
身。哲学館（現・東洋大学）卒業。西
鶴ものや明治初期の風俗書、明治大正
期の文学書を蒐集。また『書物往来』
やその後継誌『東京新誌』を編集した。
主著に『明治初期戯作年表』『藤村書
誌』など。

井上紅梅（いのうえ・こうばい、本
名・進、一八八二―一九四九）中国文
学者。東京出身。一九一三年に上海に
渡り、『支那風俗』『金瓶梅支那の社会
状態』などで中国事情を日本に紹介し
た。

上田恭輔（うえだ・きょうすけ、一
八七二―一九五二）陶磁学者。主著に
『支那陶磁の時代的研究』『支那骨董と

美術工芸図説』趣味の支那叢談』など。
生方敏郎（うぶかた・としろう、一
八八二―一九六九）随筆家、評論家。
群馬県出身。早稲田大学英文文学科卒業。
口語体で執筆する風刺的な文章が人気
を博した。主著に『敏郎集』『虐げら
れた笑ひ』『明治大正見聞史』など。
また戦時下でも個人雑誌『ゆめりすと』
『古人今人』を発行し続けた。

大泉黒石（おおいずみ・こくせき、
本名・清、一八九四―一九五七）小説
家、ロシア文学者。長崎県出身。長崎
鎮西学院中学卒業。ロシア人の父をも
ち、幼少期はヨーロッパで生活した。
虚無的な小説『老子』をはじめユーモ
ア小説や怪奇小説を手がけた。ゴリ
キーの翻訳『どん底』なども知られる。

大曲駒村（おおまがり・くそん、本
名・省三、一八八二―一九四三）川柳
研究者、浮世絵研究者。福島県出身。
主著に『川柳語彙』『川柳大辞典』な
ど。関東大震災の記録『東京灰燼記』
でも知られる。

岡崎桂一郎（おかざき・けいいちろ
う、？―一九四一）主著に『日本米
食史』『保健衛生一日』『食論』（永井潜
との共著）など。

尾崎久弥（おさき・きゅうや、一八
九〇―一九七二）近世文学研究者。愛
知県出身。国学院大学高等師範部卒業。
国学院大学講師を経て、戦後は名古屋
商科大学教授などを務めた。主著に
『江戸軟派維考』『浮世絵美人大首画の
研究』『江戸軟文学考』ほか主著多数。

加藤藤吉（かとう・とうきち、一八
九四―？）花街研究者、写真家。主著
に『日本花街志』『柳橋沿革史』。

川端勇男（かわばた・いさお、別
名・南沢十七、一九〇五―一九八二）
小説家、翻訳家。宮城県出身。東京外
国語大学卒業。探偵小説、科学小説を
手がけた。主著に『支那秘薬処方全書』
『内燃機王ディーゼル』『緑人の魔都』
（南沢十七名義）など。

最近輸入珍書秘書解説史

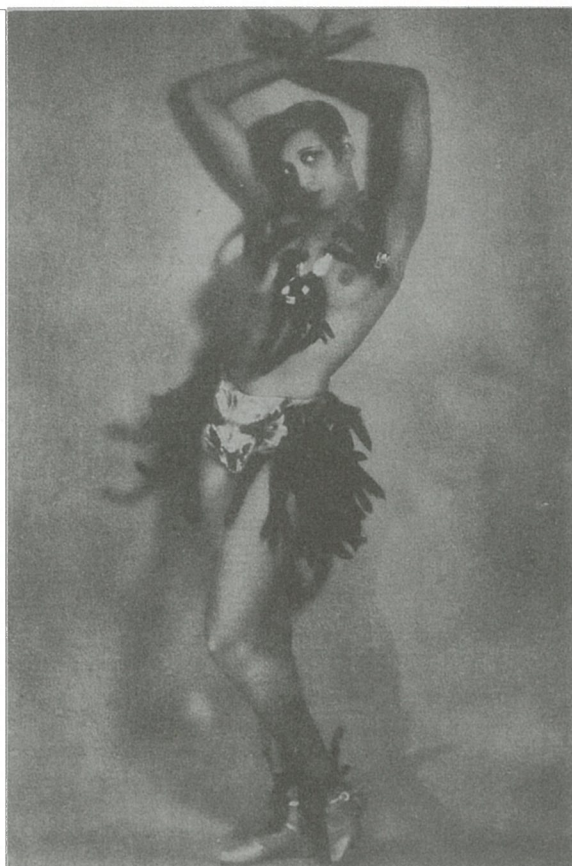
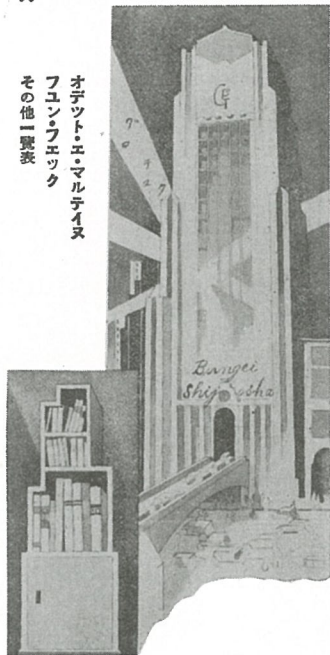
梅原北明

我國に輸入された珍書秘書に關する根本的な紹介、即ち、數百年來の歴史を茲に一々紹介するなんてことは到底僕等の知とする所ではない。明治初年以後の紹介なら何とか、ちつつけられないこともあるまいが、到底この限られた紙數では書き盡せない。

解説書目

カーマ・ストロ
デカメロン
ファンニー・ヒル
ジャルダン・バラヒエ
ラティラ・ハスヤ
エル・ウターフ
フロツシー
アナン・ガランガ
ツル・ラフとペラ・アモ
バルカン・クリゲ
ル・スウ・ブニール・デュヌ・ヒュス

オデット・エマル・ティヌ
フュン・フエック
その他一覽表



〜ネグロ舞踊界の女王〜 ジョセフィーヌ・ペーカー
巴里ミュージック・ホールに於て人氣獨占の黒色ビーナス。其のエキゾースチックな美貌は近く封切される名映画『モン・パリ』の中に現れるだらう。

小生夢坊（こいけ・むぼう、一八九五〜一九八六）評論家・随筆家・漫画家。石川県出身。浅草を中心に、樋口一葉記念館、下町風俗資料館の建設など様々な文化事業に關わりをもった。主著に『小生夢坊隨筆集』『天狗まんだん』がある。

小酒井不木（こさい・ふぼく、別名・鳥井零水一八九〇〜一九二九）医学者・探偵小説家。愛知県出身。東京帝大医学部を卒業。児童文学作品を數多く執筆した。代表作に『紅色ダイヤ』『少年科学探偵』シリーズがある。

今東光（こん・どうこう、一八九八〜一九七七）小説家。神奈川県出身。弟は小説家の今日出海。新感覺派の作家として『文芸時代』創刊に参加するが後に脱退、プロレタリア作家同盟に加入した後、一九三〇年に出家する。戦後『お吟さま』で直木賞を受賞。

杉田直樹（すぎた・なおき、一八八七〜一九四九）精神科医。東京出身。東京帝国大学卒業。東京帝国大学を経て名古屋医科大学教授などを務めた。主著に『優生學と犯罪及精神病』『処女の書』など。

斎藤昌三（さいとう・しょうぞう、一八八七〜一九六二）書物研究家。神奈川県出身。発禁本の研究で著名。昭和六年、書物展望社を設立。主著に『書痴の散歩』『書物誌展望』など。

酒井潔（さかい・きよし、一八九五〜一九五二）翻訳家・編集者。愛知県出身。魔術、秘薬、性愛に關する研究を行い、梅原北明らとともに、昭和初期のエログロナンセンス文化をリードした。

佐々木喜善（ささき・きぜん、一八八六〜一九三三）民俗・文学者。岩手県出身。民話や口承文学の収集・研究を行い、郷里である遠野地方の民話などは柳田国男の『遠野物語』にまとめられた。

十菱愛彦（じゅうびし・よしひこ、別名・トリス星図一八九七〜一九七九）劇作家・小説家。兵庫県出身。主著に『闇に咲く』がある。

高田義一郎（たかだ・ぎいちろう、一八八六〜一九四五）医師。主著に『愛態性慾考』『愛児と共に』。

永見徳太郎（ながみ・とくたろう、一八九〇〜一九五〇）劇作家・美術研究家。長崎県出身。南蛮美術品の収集、研究も行った。主著に『長崎版画集』『愛染艸』。

中山太郎（なかやま・たろう、一八七六〜一九四七）民俗学者。栃木県出身。東京専門学校（現・早稲田大学）卒業。新聞記者生活を送る傍ら、雑誌『郷土研究』に感銘を受け、新聞社を退社後、柳田国男に師事する。博文館の編集局長を勤めた。主著に『日本婚姻史』『日本巫女史』など。

那珂良一（なか・りょうじ、一九〇〇〜一九五〇）科学小説家。主著に『非武装艦隊』『成層圏要塞』がある。

原比露志（はら・ひろし、一九〇一〜原浩三）會員制の同性愛サークル『アドニス会』の創設メンバー。主著に『日本好色美術史』『寝室の美学』『港々の猟奇街』など。

湯朝竹山人（ゆあさ・ちくさんじん、一八七五〜一九四四）小唄研究家。兵庫県出身。万朝報の宗教欄や俗謡欄を執筆した後、研究に専心し『書物展望』などに論考を発表した。主著に『小唄漫考』『食通耳学問』など。

そのほか
笹川臨風
佐藤惣之助
里村欣三
辻潤
徳永直
南方熊楠 など

叢書エログロナンセンス 第Ⅰ期

グロテスク 全10巻



〔監修・解説〕島村 輝 ●揃定価：本体195,000円＋税 ISBN978-4-8433-4839-0 C3390 A5 判上製・クロス装・カバー

昭和3(1928)年11月～昭和6(1931)年8月にかけて発行された、梅原北明の代表的な雑誌。北明は風俗壊乱罪で市ヶ谷刑務所に投獄された後、仮釈放で出獄すると、すぐに創刊号を北明のペンネーム烏山朝太郎の名で編集・発行している。度重なる当局の弾圧をかわすため、グロテスク社、文藝市場社、談奇館書局など数回にわたり発行所を変更、発禁処分の際に新聞に『グロテスク』死亡通知の広告を出したことも有名。「戦争前夜」から現在を照射し、関東大震災からアジア太平洋十五年戦争までを繋ぐ、サブカルチャー領域の貴重資料。

第1回配本 全5巻 揃定価：本体95,000円＋税 ISBN978-4-8433-4840-6 C3390 2015年10月刊行予定

- | | | |
|-----------------------------|----------------|-----------------------------|
| 1◆ 創刊号・第1巻第2号(昭和3年11月・12月) | 定価：本体15,000円＋税 | ISBN978-4-8433-4842-0 C3390 |
| 2◆ 第2巻第1号・第2巻第2号(昭和4年1月・2月) | 定価：本体24,000円＋税 | ISBN978-4-8433-4843-7 C3390 |
| 3◆ 第2巻第3号・第2巻第4号(昭和4年3月・4月) | 定価：本体17,000円＋税 | ISBN978-4-8433-4844-4 C3390 |
| 4◆ 第2巻第5号・第2巻第7号(昭和4年5月・7月) | 定価：本体22,000円＋税 | ISBN978-4-8433-4845-1 C3390 |
| 5◆ 第2巻第8号・第2巻第9号(昭和4年8月・9月) | 定価：本体17,000円＋税 | ISBN978-4-8433-4846-8 C3390 |

第2回配本 全5巻 揃定価：本体100,000円＋税 ISBN978-4-8433-4841-3 C3390 2016年2月刊行予定

- | | | |
|---------------------------------|----------------|-----------------------------|
| 6◆ 第2巻第11号・第2巻第12号(昭和4年11月・12月) | 定価：本体24,000円＋税 | ISBN978-4-8433-4847-5 C3390 |
| 7◆ 第3巻第1号・附録(昭和5年1月) | 定価：本体28,000円＋税 | ISBN978-4-8433-4848-2 C3390 |
| 8◆ 第4巻第1号・第4巻第2号(昭和6年4月・5月) | 定価：本体19,000円＋税 | ISBN978-4-8433-4849-9 C3390 |
| 9◆ 第4巻第3号・第4巻第4号(昭和6年6月・7月) | 定価：本体20,000円＋税 | ISBN978-4-8433-4850-5 C3390 |
| 10◆ 第4巻第5号(昭和6年8月)／総目次／解説 | 定価：本体 9,000円＋税 | ISBN978-4-8433-4851-2 C3390 |

続刊予定(刊行日未定) 叢書エログロナンセンス 第Ⅱ期

『文藝市場』(昭和2年6月～10月／梅原北明個人編集期)

A5 判上製・クロス装・カバー

『カーマ・シャストラ』

全6巻・揃定価：本体76,000円＋税 ISBN978-4-8433-4852-9 C3390

変態・資料 全5巻

〔監修〕島村 輝 ●揃定価：本体105,000円＋税
「エロ・グロ・ナンセンス」ブームの先駆け。当代一流の執筆陣による性に関する本格的な研究誌。斬新かつ貴重な図版を満載した貴重文献。

エロ・グロ・ナンセンス

コレクション・モダン都市文化15 〔編集〕島村 輝 〔監修〕和田博文
『現代猥奇尖端図鑑』(1931)／『変態風俗図鑑』(1931)／雑誌掲載作品／エッセイ「エロ・グロ・ナンセンス」ほか ●定価：18,000円＋税

世界エロティシズム文学 歴史と解説

書誌書目シリーズ76 全3巻

〔監修〕島村 輝 モダニズム期におけるエロティシズム文学の貴重な紹介文献を復刻。 ●揃定価：本体96,000円＋税

- ①『Bibliotheca curiosa et erotica 世界珍書解説』
ベルンハルト・シュテルン＝シュザナ 著／佐々謙自 訳
- ②『世界好色文学史』第一巻 佐々謙自 編著
- ③『世界好色文学史』第二巻 佐々謙自／酒井潔／梅原北明 編著



〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6
TEL.03(5296)0491
FAX.03(5296)0493
<http://www.yumani.co.jp/>
e-mail eigyou@yumani.co.jp

●特におすすめしたい方
大学図書館・公共図書館・近代文学、演劇、美術、映画、風俗史、メディア史などの研究者・研究機関ほか。

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日		※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。	
ご注文書	グロテスク 全10巻		取扱店
	☐ 第1回配本・全5巻 揃定価：本体 95,000円＋税 ☐ 第2回配本・全5巻 揃定価：本体 100,000円＋税		
	セット		
	お名前		
ご住所	TEL ()		15.09/01.7000.FR